

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	オーストラリア科学奨学生 の派遣 (隔年実施事業)			担当部局庁	総合教育政策局	作成責任者	
事業開始年度	昭和43年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	国際教育課	国際教育課長 中野 理美	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	・「第4期教育振興基本計画」令和5年6月16日閣議決定 ・教育未来創造会議「未来を創造する若者の留学促進イニシア ティブ」(第二次提言)令和5年4月27日		
政策	13豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進			主要経費	その他の事項経費		
施策	13-1 国際交流の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-41.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	科学分野等に興味のある日本の高校生を対象に、高校生段階における国際交流を通じて、広い視野を持って異文化を理解し、これを尊重する態度や異なる文化を持った人々と共に生きていく態度を育成し、国際的に活躍できるグローバル人材となるための機運を醸成する。						
現状・課題 (5行程度以内)	グローバル化が加速する社会経済の中にあっては、豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解に秀でたグローバル人材を継続的に育てていくことが必要となっているが、これらの能力を育成するために必要な国際交流の機会は高校生段階では限られているため、本事業の取組を通じ、機会を充実させる必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	ノーベル賞クラスの一線級の科学者から最新の科学知識に関する講義を受け、他国からの参加高校生との交流を深めることを目的とした、シドニー大学内物理学財団が主催する「高校生のための国際科学学校」事業の派遣高校生(オーストラリア科学奨学生)を文部科学省が決定し、当該派遣に要する旅費を支給する。(隔年実施)						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/koukousei/1329142.htm						
実施方法	直接実施						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	-	-	-	2.5	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	2.5	-	
	執行額(G)		-	-	-		
	執行率(%) =(G)/(F)		-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}		-	-	-			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		国際交流・協力推進費		-		
		(目)	教員等派遣旅費	2.2			
		(目)	庁費	0.3			
			その他	-			
計(A)		2.5	-				

活動内容① (アクティビティ)		シドニー大学内物理学財団が開催する「高校生のための国際科学学校」事業へ奨学生を派遣する								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		シドニー大学内物理学財団が開催する「高校生のための国際科学学校」事業へ奨学生を派遣する	当該事業により、オーストラリアへ派遣した奨学生の人数	活動実績	人	-	-	-	-	-
				当初見込み	人	-	-	-	10	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	当該事業でオーストラリアへ派遣された生徒が留学への興味関心を深め、再度留学したいと思っているかを測る目標として設定								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		奨学生として派遣された生徒のうち90%以上が、将来再度留学したいと回答	奨学生として派遣された生徒の将来再度留学したいと思う割合	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	100	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		事業参加者への事後アンケート								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	事業の実施が高校生段階の留学機運の醸成に寄与し、留学生数の増加につながっているかを測る指標として設定。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 15 年度	
		日本人高校生の海外留学生数の増加	日本人高校生の海外留学生数	成果実績	人	-	3,118	-	-	
				目標値	人	-	46,869	-	120,000	
				達成度	%	-	6.7	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		成果実績:文部科学省調査「高等学校等における国際交流等の状況について」 目標値:<2021年度>文部科学省調査「高等学校等における国際交流の状況について」における平成29年度実績<2033年度>第4期教育振興基本計画における2033年の目標人数 ※調査は隔年実施。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	-								
	URL	-								
	該当箇所	-								
事業所管部局による点検・改善										
点検結果		本事業は、研究の最前線に立つ科学者から最新の科学知識に関する講義を受け、他国から参加する高校生との交流を深めることを目的とした事業であり、派遣のための必要最低限の経費で実施しているものである。					目標年度における効果測定に関する評価(令和16年度実施)			
							-			
改善の 方向性		今後も限られた予算の範囲内で、最大限の効果が得られるよう、適切な事業実施に努める。								

[illegible]

※現時点での予定やイメージを記入。

文部科学省 2.5百万円

[※シドニー大学内物理学財団が主催する「高校生のための国際科学学校」事業への派遣高校生を選考・決定し、派遣する。]

庁費:0.3百万円

教員等派遣旅費:2.2百万円

[「高校生のための国際科学学校」事業への派遣に係る旅費]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

